

## 令和6年度 第2回鴨川市子ども・子育て会議

日 時 令和6年11月19日(火) 午後3時

場 所 鴨川市総合保健福祉会館 2階研修室

### 【出席者】

立野委員、石井委員、川名委員、伊東委員、行沢委員、瀧田委員、関口委員

鴨川市： 鈴木市民福祉部長

学校教育課： 鈴木課長

子ども支援課： 嶋津課長、刈込課長補佐、鈴木課長補佐(子ども家庭センター長)

濱野子ども支援係長、高橋主査、吉野保健師

株式会社ぎょうせい： 堀内主任研究員

### 【欠席者】

宮崎委員、楠委員、桎谷委員

### 【傍聴者】

2名

### <次 第>

1 開 会

2 挨 拶

3 議 件

(1) 令和6年度ニーズ調査の報告について

(2) 鴨川市こども計画骨子案について

(3) その他

4 その他

5 閉 会

### 1 開 会

会議の進め方の説明

会議が成立した旨の報告

会議の開会宣言

### 2 挨 拶【鈴木市民福祉部長】

皆さん、こんにちは。市民福祉部 部長の鈴木でございます。

本日は、大変お忙しい中、令和6年度第2回子ども・子育て会議にご出席いただきま

して、誠にありがとうございます。また、日頃より子ども支援課の業務に対しまして、ご理解ご協力をいただいておりますこと、深く感謝申し上げます。

さて、本日は、前回の会議でご意見を頂戴しました、小学5年生及び中学2年生へのアンケート調査の報告と、第3期計画の骨子案をお示しさせていただくことを予定しております。

特に新計画の骨子案につきましては、委員みなさまの忌憚のないご意見を賜りますようお願いを申し上げて、本会議開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

### 3 議件 議長 立野会長

会長が議長として進行

会議録署名人として、伊東委員を指名

#### (1) 令和6年度ニーズ調査の報告について

(事務局及び株式会社ぎょうせいから、資料1、資料4に即して説明)

#### 伊東委員

中高生のヤングケアラーは5～6%という数値を聞いたことがあるが、それに比べると今回調査でのヤングケアラーの数は多いのではないか。

回答は、中学校では鴨中の回答数が圧倒的に多いが、人口比にあっているか。回答のしやすさと貧困とに影響はありますか。

#### 株式会社ぎょうせい

ヤングケアラーに関しては、自己申告であるので実態がどうであるかは精査が必要。学校等での見守りが必要です。

答えやすさについては、中学校の回答率は約8割なので、各学校で満遍なく対応して頂いていると思う。

#### 事務局

鴨中は、3中学校の中で回答者が多いですが、生徒数が多いためです。学校ごとの回答率のばらつきは、ありませんでした。今回のアンケートについては、事務局から校長会で説明、協力をお願いしました。また、小学5年生向けには、やさしい文章にしたものでも行いました。

#### 伊東委員

経済的状況と自己肯定感はある程度想定できたことと思う。特異的なこと、鴨川市としての傾向はありますか。

## 株式会社ぎょうせい

自己肯定感と経済的状況は、あまりリンクしていないと分析していたが、今回は、関連がある結果となりました。経済的状況に関わらず、自己肯定感が高くなるような施策が必要かと思います。

## 立野議長

貧困と思われる子どもでも、夢を持っている割合は高かったと思います。

## 伊東委員

ヤングケアラーの自己肯定感についてはどうですか。

## 株式会社ぎょうせい

ヤングケアラーは数人で、個人の特定にも繋がりがねないため、深い分析はしていない。この調査では、ヤングケアラーの有無のみ把握しました。今回、ヤングケアラーと疑われる子どもの割合については、鴨川市が特に高い訳ではありません。

## 事務局

児童生徒は自己評価でありました。学校に行きたくても行けない、友達と遊べないは、小学生の方が多くいました。また、遅刻・早退してしまうや部活や習い事ができないは0%になっています。専門職は、児童生徒が通常の生活ができなくなってしまう場合に、ヤングケアラーとして取り扱うこととしています。

子どもの主観だけでなく、学校でも把握に努めていて、ヤングケアラーが疑われる児童生徒がいた場合は、福祉部局へ連絡をいただくことになっています。

## (2) 鴨川市こども計画骨子案について

(事務局及び株式会社ぎょうせいから、資料2、資料3 - 1、資料3 - 2 - 、資料3 - 2 - に即して説明)

## 伊東委員

第5章の見込み量、確保方策はアンケートをもとにして、数値目標を作るのですか。

## 株式会社ぎょうせい

国が示している計算式に基づき計算し、潜在的ニーズを把握します。アンケート結果をそのまま反映させると、一般的にはニーズ量が多くなる可能性が高い。ニーズ量であるため、数値目標とは異なる概念です。ニーズ量については、過去の実績も踏まえ補正することもあります。

## 立野議長

現計画でも数値目標があったのではないのでしょうか。

#### 株式会社ぎょうせい

施策ごとに見込み量を数値で示していましたが、目標ではありません。こども計画でも、見込み量として数値を示します。

#### 伊東委員

現計画の評価に基づく新計画の作成など PDCA サイクルについてはどうですか。

#### 株式会社ぎょうせい

現計画の評価を担当課が行い、継続するもの、廃止するもの等に分け、新計画に反映させます。定期的に、施策の評価を行います。

#### 事務局

次回、素案では数値を示したいと思います。

#### (3) その他

なし

#### 4 その他

なし

#### 5 閉 会

本会議の内容を確認したので署名する。

令和6年11月25日

会議録署名人 伊東 宏明